



## web T F Pの概要

大阪府では、各事業所に対し web T F Pの実施を呼びかけた。取り組みタイプとして「標準タイプ」「マイカー通勤タイプ」「休日タイプ」「ファミリータイプ」の4タイプを用意し、企業毎に選択していただくとともに、通勤交通以外にも参加者に取り組んでもらうものとした。

web T F Pは主に以下の4つのフェーズに分けて実施した。

表 web T F Pの概要

フェーズ	画面名	概要
第1フェーズ	アンケート調査	現況の交通環境、環境に対する意識のアンケート
	現況交通ダイアリー	マイカーによる現況の通勤方法の入力
第2フェーズ	現況交通診断	現況の通勤方法に対する自動車利用率、ガソリン消費量、CO <sub>2</sub> 排出量、カロリー消費量の提示
	行動プラン	公共交通機関を利用する場合の通勤行動プランの作成
第3フェーズ	第2回交通ダイアリー	実際に公共交通機関を利用して通勤した時の通勤方法方法の入力
第4フェーズ	プログラム評価書	公共交通機関を利用した通勤方法に対する自動車利用率、ガソリン消費量、CO <sub>2</sub> 排出量、カロリー消費量の提示
	交通行動改善計画	第2フェーズで作成した行動プランの実践の可否、今後の通勤方法に対する意向についてアンケート
	第2回アンケート調査	第1フェーズで実施したアンケートと同様のアンケートを実施

# 取り組み画面例【フェーズ1, 2】

## アンケート調査

モビリティ・マネジメント・プログラム

第1回ダイアリー調査 > 行動プラン作成 > 第2回ダイアリー調査 > 取り組み結果

はじめに アンケート

■ 交通行動についてのアンケート調査  
 プログラムにご参加いただき、ありがとうございます。  
 プログラムに先立ちましてアンケート調査もおこないます。

【質問1】はじめに、あなたの交通環境についてお答えください。

(1) あなたの通勤について  
 ・ご家族何人ですか？  
 一人暮らし  二人以上  
 ・ご家族の中で、自動車の免許を持っている方は何人いらっしゃいますか？  
 一人  二人以上  
 ・ご家族で、自動車を何台お持ちですか？  
 一台  二台以上

(2) あなたの普段のクルマ利用について  
 ・マイカー通勤していますか？\*\*  
 している  時々している  していません  
 ・通勤以外で、クルマを利用していますか？\*\*  
 平日・休日とも利用している  ほとんど平日のみ利用している  ほとんど休日のみ利用している  通勤以外にクルマ  
 ・あなたの通勤のために、普段クルマを運転される方がいらっしゃいますか？\*\*  
 います  いません

(3) 取り組み方法について  
 ・このプログラムも、ご家族でご家族の方と組んでみる、取り組みることが可能ですか？\*\*  
 可能である  不確か

【質問2】例えば次のような時に、あなたはそのように行動しますか？  
※考えすぎ、正確な数字で回答は「約」「くらい」「程度」で大丈夫

1. 友人・知人の車に同乗するとき  
 自動車  電車・地下鉄  バス  タクシー  自転車  徒歩  バイク(乗付者)  その他

2. 駅心の駅形(例)に営業日時とき  
 自動車  電車・地下鉄  バス  タクシー  自転車  徒歩  バイク(乗付者)  その他

## 現況交通ダイアリー

モビリティ・マネジメント・プログラム

第1回ダイアリー調査 > 行動プラン作成 > 第2回ダイアリー調査 > 取り組み結果

はじめに アンケート 入力方法 > ①ダイアリー > ②ダイアリー

■ 第1回(現況)交通ダイアリー(通勤交通用)です。  
 ・期間は、0月0日00:00までお申し込みください。  
 ・ダイアリーへ記入が終わったら必ず「送信するボタン」を押していただき、「送信するボタン」を押さないと入力したデータは登録されません。  
 ・入力後に送信ボタンを押すと完了メッセージが表示されますのでご確認ください。  
 ・送信ボタンを押さなくても再度入力出来ます。

【1】普段の通勤の移動距離はどの程度でしょうか？  
 約  km

【2】現在、どの交通手段で通勤していますか？  
 1週間おおよそ何回ずつだったかを記入してください。  
※1回の通勤で1つだけ代表的な交通手段を選んで、回答をお願いします。  
 ※電車にこの記入の方は、具体的な路線名も合わせて記入ください。

自動車 週  回  
 鉄道 週  回  
 バス 週  回  
 タクシー 週  回  
 バイク 週  回  
 自転車 週  回  
 徒歩 週  回  
 その他 週  回

【3】代表的な日の通勤交通についてご記入ください(あらかじめ日付が表示されている場合は、その日の通勤交通についてご記入ください)  
 日付:  月  日  曜日

【4】通勤がスムーズでしたか？\*\*  
 した  しなかった

## 現況交通診断

モビリティ・マネジメント・プログラム

第1回ダイアリー調査 > 行動プラン作成 > 第2回ダイアリー調査 > 取り組み結果

お読みください ワークシート

■ 現況交通ダイアリー調査への回答ありがとうございます。  
 ・ここで、ご回答いただいた結果をもとに、『かしこいクルマの使い方を』を  
 ・現況交通ダイアリー調査にご回答いただいた方へは、あなたの通勤距離  
 ・行動プラン(記入シート)も、ご記入のうえ、0月0日00:00までご

◆ ご回答いただいた「現況交通ダイアリー」の編集をお見いただけます。  
 あなたの通勤交通を1週間(平日6日間)に設定した交通指標(表)とあります。  
 エネルギー消費量を削減したり、環境への影響を少なくするため、交通手段をどのように使えばよいでしょうか。

■ あなたの交通指標 (計算方法の詳細は、[こちら](#)をご覧ください)

指標	あなた(A)	(A)/(B)	平均(B)
移動時間(時間/週)	3.5	2.00	1.7
クルマ利用率(%)	30.0	1.00	30.0
ガソリン消費量(リットル/週)	20.0	2.00	10.0
CO <sub>2</sub> 排出量(kg/週)	20.0	2.00	10.0
カーボンを消費量(km/週)	200.0	2.00	100.0

■ あなたの通勤交通(各日)の交通手段別 CO<sub>2</sub> 排出量のシマ

あなた (20日)  
 平均 (20日)  
 100kg (20日)

■ 自動車 電車・地下鉄 ■ バス タクシー ■ バイク

◆ さて、今回のあなたの取り組みを評価すると、自己評価値(100点満点中)は何点でしょうか？  
 以下の欄に、あなたが考える望ましい交通手段の使い方を記入ください。  
 (自己評価値とポイントが空白のままでも送信することができます)

自己評価値  点

## 行動プラン

モビリティ・マネジメント・プログラム

第1回ダイアリー調査 > 行動プラン作成 > 第2回ダイアリー調査 > 取り組み結果

お読みください ワークシート 入力方法 > ①行動プラン(1) > ②行動プラン(2)

■ 行動プランにご記入いただけます。  
 ・期間は、0月0日00:00までお申し込みください。  
 ・行動プランの記入が終わったら必ず「送信するボタン」を押していただき、「送信するボタン」を押さないと入力したデータは登録されません。  
 ・入力後に「送信する」ボタンを押すと完了メッセージが表示されますのでご確認ください。

行動プランをご検討いただきありがとうございます。是非、[こちら](#)をご覧ください。

◆ もしマイカー通勤を変更したら、どのような変更が可能でしょうか？(複数回答可)

クルマの代わりに電車やバスで行くこととする。 [詳細](#)  
 クルマの代わりに徒歩や自転車で行くこととする。 [詳細](#)  
 他人と乗換する。 [詳細](#)  
 家族で使ってもらい、ステータスに電車で乗る。 [詳細](#)  
 バイクやスクーターを利用する。 [詳細](#)  
 その他

◆ 具体的な取り組み内容(望ましい)を、プランシートでください。

場所	交通手段**	移動時間(分)**	記入例
出発地: <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	自宅
↓	↓	↓	徒歩 3分
中継地①: <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	バス停
↓	↓	↓	バス 20分
中継地②: <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	〇〇駅
↓	↓	↓	地下鉄 15分

# 取り組み画面例【フェーズ3, 4】

## 第2回交通ダイアリー調査

モビリティ・マネジメント・プログラム

第1回ダイアリー調査 > 行動プラン作成 > 第2回ダイアリー調査 > 取り組み結果

お読みください

- 第2回交通ダイアリーです。行動プラン通り組み後の通勤について記入してください。
- 回答は、〇月〇日〇〇:〇〇までお楽しみいたします。
- ダイアリー記入が終わったから必ず送信するボタンをクリックしてください。送信するボタンを押さないで入力したデータは登録されません。
- 入力済みのデータは押すことでリセットが表示されますのでご注意ください。
- 送信開始前であれば何回でも記入出来ます。

【1】「行動プラン」取組み後は、どの交通手段で通勤していますか？  
1週間におよそ何日ずつだったかを記入してください。  
※1回の通勤で1つの代表的な交通手段を選んで、回数をお答えください。  
※通勤にご記入の方は、具体的な路線名もあわせてご記入ください。

自動車  日

鉄道  日

バス  日

タクシー  日

バイク  日

自転車  日

徒歩  日

その他  日

【2】代表的な日の通勤交通についてご記入ください。あらかじめ日付が表示されている場合は、その日の通勤交通についてご記入ください。

日付: 月 日 曜日

【3】通勤しましたか？\*\*  
 はい  なかった

※「通勤しなかった」と答えた方は、「送信する」ボタンを押してください。

【4】通勤に次の交通手段を利用しましたか？  
 利用なかった

## プログラム評価書

モビリティ・マネジメント・プログラム

第1回ダイアリー調査 > 行動プラン作成 > 第2回ダイアリー調査 > 取り組み結果

お読みください

- 『プログラム評価書』は、皆様方が『かしいクルマの使い方』をするためにはどうすればいいかを考えて実践していただいた結果を評価し、今後の交通改善行動計画を考えていただくためのものです。
- 『プログラム評価書』が今後の交通行動改善計画は、〇月〇日〇〇:〇〇までご回答いただけますようお願いいたします。
- 『第1回(現況)交通ダイアリー調査』または『第2回交通ダイアリー調査』にご回答いただけていない方は、今回の『プログラム評価書』の『あなたの欄』に回答がありませんがあなたの主観で回答をお願いします。
- なお、『プログラム評価書』を送信していただくことで交通行動改善計画とアンケート調査画面が表示されます。あわせてご回答をお願いいたします。

◆まずはじめに、第1回(事前)と第2回(事後)の「交通ダイアリー調査」結果の集計値を見いただけます。  
第1回と第2回の1週間(平日5日)間の交通によって発生するCO<sub>2</sub>などの排出量を比較すると次のとおりです。エネルギーの消費量や環境への影響度は、どうなりましたでしょうか？

■あなたの通勤(平日5日間)での交通指標 第1回/第2回比較 (計算方法の詳細は、[こちら](#)をご覧ください)

指標	あなた			平均		
	第1回(A)	第2回(B)	(B)/(A)	第1回(C)	第2回(D)	(D)/(C)
移動時間(時間/週)	3.3	4.0	1.2	1.7	4.0	2.4
クルマ利用率(%)	80.0	50.0	0.6	80.0	50.0	0.6
ガソリン消費量(リットル/週)	20.0	10.0	0.5	10.0	10.0	1.0
CO <sub>2</sub> 排出量(tCO <sub>2</sub> /週)	20.0	10.0	0.5	10.0	10.0	1.0
ガソリン消費量(kcal/週)	20.0	10.0	0.5	10.0	10.0	1.0

■あなたの通勤交通(平日5日間)の交通手段別 CO<sub>2</sub> 排出量のシェア

あなた(第1回)

あなた(第2回)

平均(第1回)

平均(第2回)

■自動車 ■電車-地下鉄 ■バス ■タクシー ■バイク

## 交通行動改善計画・第1回アンケート調査

モビリティ・マネジメント・プログラム

第1回ダイアリー調査 > 行動プラン作成 > 第2回ダイアリー調査 > 取り組み結果

お読みください

- 今回の取り組みで、交通ダイアリー調査や行動プランなどで、『かしいクルマの使い方』を考えて実践していただきました。
- 実践した結果を評価し、今後の交通行動改善計画を考えていただきます。

◆今回の取り組みで、行動プランを立てていただきましたが、実際に行動することができましたか？

変更した行動プランで行動していた。

時々変更した行動プランで行動した。

行動プランを実行する機会がなかった。

行動プランを立てたが、他の理由で実行しなかった。

◆今後も、このような取り組みや交通のあり方を考えていただくことは可能でしょうか？

今後も、是非このような取り組みを継続していきたい。

今後は、できる限りよりよい交通のあり方を考えながらクルマを使っていきたい。

少しは、考えながらクルマで利用していきたい。

このような取り組みは、あまり考えられないと思う。

このような取り組みを考えると、全くできないと思う。

◆あなたの『かしいクルマの使い方』をみて、今後の具体的な実践項目も教えてください。  
(空欄のままでは送信することができません。)

以上でプログラムは終了です。  
大変ありがとうございました。  
最後に、もう一度「交通行動改善計画」に協力をお願いします。  
最初にお見したアンケート調査と同様のものです。  
気軽に、直感でお答えください。

【質問1】例えば次のような時に、あなたはどのように行動しますか？  
(深く考えず、直感的にできるだけ「すばやく」選択してください)

## 大阪府におけるモビリティ・マネジメントの基本的なスタンス

モビリティ・マネジメントに取り組むにあたって、大阪府から以下のようなアドバイスをいただいた。

- ・ モビリティ・マネジメントの推進は、基本的に行政が主導で実施していくべきである。
- ・ 行政と民間が密にコミュニケーションを実施し、良好な関係を築くことが重要である。調査は実施するだけでなく、報告書を持って調査成果の最終説明を行うことも重要である。
- ・ 経団連や国のバックアップがあり、行政担当者の独自の動きと思われなければならないことが必要である。
- ・ 企業側のメリットを明確に示すことが必要である。(行政とタイアップして環境問題に取り組んでいることが対外的なPRになる、環境教育を無料で実施できる等)
- ・ 企業内に環境対策に対する動きや部署がある方が取り組んでもらいやすい。

## 大阪府におけるモビリティ・マネジメントの取り組み方

大阪府では取り組むにあたって以下の点に留意した。

- ・ 企業を選定するにあたって、ISO企業から選定し、説明を行った。行政と企業とが密にコミュニケーションするために、Face to Face の話し合いを何度も行った。
- ・ 都心に本社がある企業では、周辺に立地する支店にも協力してもらいやすく、取り組みを広げることができた。
- ・ webTFPを開発して実施した。webTFPを実施するにあたっては社員のメールアドレスを入手する必要があったが、企業からは提供してもらえなかったため、社員一同を集めて説明会を実施し、その場で聞きだした。
- ・ webTFPは、パソコンの環境が整っていない企業（特に製造業に多い）ことから、取り組みに限界があった。

## 企業側のスタンス

企業側のスタンスとして、以下の意見が聞かれた。

- ・ 企業の意思決定時期と行政が話題を提供する時期をあわせると取り組んでもらいやすい。
- ・ 企業は環境への取り組みが最終的に企業にどういうメリットをもたらすか、スキームを求めることが多い。
- ・ 一部の企業では、マイカーと公共交通の二重コスト負担となることもあり、実現が難しいという声があった。一方で、駐車場のスペースを減らして倉庫等の土地の有効活用を図りたいという声もあり、積極的に取り組んでもらった企業もあった。

## 参考資料2 アンケート調査票

---

本調査にて使用したアンケート調査票を以降に添付する。

- ・ パークアンドバスライド「実験バス」のアンケート調査票
- ・ 従業員アンケート調査票
- ・ 事業所アンケート調査票

# パークアンドバスライド「実験バス」に関するアンケート調査にご協力ください！

本日は、三重県と四日市市が実施する尾平駐車場のパークアンドバスライド「実験バス」をご利用いただき誠にありがとうございます。簡単なアンケートを実施しておりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、回答用紙は下車の際にバスの添乗員までお渡ししてください。（回答の目安時間は15分程度です）

**Q1** 普段の通勤手段及び本日の通勤手段についてお答えください。（手段は下枠の選択肢からお選びください。項目にない場合は自由にお書きください）

普 段	本 日
起点： 自 宅 （ 市 町 ）	起点： 自 宅 （ 市 町 ）
手段： _____ 時間： _____ 分 距離： 約 _____ km	手段： <b>マイカー</b> 時間： _____ 分 距離： 約 _____ km
↓	↓
経由地： _____	経由地： <b>尾平駐車場</b>
手段： _____ 時間： _____ 分 距離： 約 _____ km	手段： <b>バス</b> 時間： _____ 分 距離： 約 _____ km
↓	↓
経由地： _____	経由地（バス停名）： _____
手段： _____ 時間： _____ 分 距離： 約 _____ km	手段： _____ 時間： _____ 分 距離： 約 _____ km
↓	↓
経由地： _____	経由地： _____
手段： _____ 時間： _____ 分 距離： 約 _____ km	手段： _____ 時間： _____ 分 距離： 約 _____ km
↓	↓
目的地（勤務地）： 社名 _____	目的地（勤務地）： 社名 _____
（ 市 町 ）	（ 市 町 ）

- 選択肢（交通手段）
- |        |        |           |         |         |
|--------|--------|-----------|---------|---------|
| 近鉄名古屋線 | 近鉄湯の山線 | 近鉄内部・八王子線 | 三岐鉄道北勢線 | 三岐鉄道三岐線 |
| JR 関西線 | 伊勢鉄道線  | マイカー      | バス      | 自転車     |
|        |        |           | 原付・バイク  | 徒歩      |

**Q2** 今回のパークアンドバスライド社会実験に参加した日（または参加予定の日）をお教えてください。（参加日は、参加予定日は とご記入ください）

12日（月）	13日（火）	14日（水）	15日（木）	16日（金）

**Q3** 今回のパークアンドバスライドの評価をお聞かせください。

**3-1** 駐車場の場所 （ 適切だと思った      不適切だと思った      どちらともいえない ）

【 と答えられた方へ、その理由は？ 】

駐車場のまでのアクセス道路が混雑していた。

都心に近すぎるため、パークアンドバスライドの意義が小さい。

その他（ \_\_\_\_\_ ）

**3 - 2** バスの乗車について ( 快適だった 不快だった どちらともいえない )

【 と答えられた方へ、その理由は？ 】

バスが遅れていた。 道路が渋滞していた。 その他 ( \_\_\_\_\_ )

**3 - 3** 総合評価 ( よかった 悪かった どちらともいえない )

【自由意見欄(よかったこと、悪かったことをお書きください。)】

**Q4** 今回のパークアンドバスライドが本格運用されたとき、あなたは利用しますか？

利用したい

条件が変われば利用したい

利用しない

わからない

とお答えになった方へ

**4 - 1a** どの程度の頻度で利用されますか？

ほぼ毎日 週に2～3回 週に1回程度

何かがあったとき(具体的に \_\_\_\_\_ )

**4 - 1b** なぜ利用したいと思いましたか？

社会実験に参加して、特に不便に感じなかった(金銭的・身体的負担が小さくなった。)

マイカーよりは不便だと感じたが、環境問題を考えるとマイカー通勤を控えるべきだと考えた

その他 ( \_\_\_\_\_ )

とお答えになった方へ

**4 - 2** 具体的にどのような条件が変わればよいでしょうか？

マイカーよりも通勤時間が短くなる クルマよりも通勤費用が安くなる。

自宅の近くにパークアンドバスライドの駐車場ができる

会社の近くに駅やバス停ができる 公共交通の運行情報が気軽に入手できる

早朝勤務・深夜勤務・残業がなくなる 通勤車を仕事で利用する必要がなくなる

鉄道・バスの運行便数が増える 公共交通の途中の乗り換えが便利になる

鉄道・バスの車内混雑が緩和される バスが遅れずに運行されるようになる

徒歩や自転車に対して通勤手当が支給される

パークアンドバスライドの駐車場の料金を勤め先が支給してくれる

その他 ( \_\_\_\_\_ )

とお答えになった方へ

**4 - 3** 利用しない理由は何ですか？

パークアンドバスライドの駐車場の場所がよくない(どんな点で: \_\_\_\_\_ )

バスの運行本数が少ない 身体的・金銭的負担が増えた

通勤時間が大幅に増加した 公共交通機関が使いにくい

その他 ( \_\_\_\_\_ )

**Q5** 今回のパークアンドバスライドが人々に利用される交通手段となるためには、具体的に誰が何をしたらよいと思いますか？あなたのアイデアをお聞かせください。

**Q6** 今回のパークアンドバスライド「実験バス」とは切り離してお考えください。一般的にパークアンドバスライドを実施することを考えて、どのような条件の駐車場、バスであれば利用しようと思いますか？また、下記の項目について重視する順番をご記入ください。

	駐車場料金	バスの運賃	バスの運行間隔	通勤時間の増加 (マイカーと比較)
理想形	円/月	円/回	/分	分
がまんでできる水準	円/月	円/回	/分	分
重視する順番				

最後にあなたについてお教えてください。

F1：性	男	女				
F2：年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代～
F3：職種	製品製造等の生産工程・労務職			研究・技術等の技術的専門職		
	事業経営・管理職等の管理的職業			事務職	店員・外交員等の販売職	
	消防員・ガードマン等保安職			運転・配達・通信等の運輸・通信従事職		
	清掃・料理人等のサービス職			その他職業		

---

ご協力ありがとうございました。

三重県

---

## 通勤交通に関するアンケート調査にご協力ください！

三重県では、地球温暖化問題に対応するため、マイカーでの通勤交通を控え、公共交通や徒歩・自転車等の環境にやさしい交通手段を活用したエコ通勤の実践を推奨しています。

このアンケートは、平成 17 年 12 月 12 日(月)～平成 18 年 1 月 20 日(金)に実施したインターネットでのアンケート調査と一部重なる内容のものもありますが、是非ご協力を賜りたく、何卒よろしく願い申し上げます。

なお、アンケート用紙は 2 月 3 日(金)までに、ご記入のうえ社内ご担当者の方にお渡しく下さい。

国土施策創発調査三重県北勢エリア WG 事務局

あなた自身のことをお聞かせください

F 1 : 居住地

( 県 市・町 )

F 2 : 性 ( 男 女 )

F 3 : 年齢

( 10 代 20 代 30 代 40 代 50 代 60 代 70 代～ )

F 4 : 運転免許 ( あり なし )

F 5 : マイカー ( あり なし )

F 6 : 職種

( 生産工程従事者 事務職 研究職従事者 販売従事者  
運輸・通信従事者 保安職従事者 管理職 パート  
その他 ( ) )

F 7 : あなたは、「地球温暖化問題」のことを知っていましたか。

( 知っている 言葉だけ聞いたことがある 知らない )

Q1：あなたの普段の通勤方法をお教え下さい。

(記入例)

往き	7:25	自宅	徒歩 5分	駅	電車 20分	駅	企業バス 10分	会社	8:00
帰り	18:40	会社	企業バス 10分	駅	電車 20分	駅	買い物	自宅	18:00

(回答欄)(普段の通勤経路)

往き	自宅	→	会社
帰り	会社	→	自宅

Q2：平成17年12月12日(月)～平成18年1月20日(金)の間、三重県が「マイカー通勤を控え、公共交通や徒歩・自転車等によるエコ通勤の推進運動とインターネットでのアンケート調査」を行っていたことを知っていましたか。(参照：下図のパンフにより広報)

(1)この社会実験のことを知っていましたか。

知っていた	知らなかった
↓	↓
(2)に進んでください	Q3に進んでください

推進運動とインターネットでのアンケート調査のために以下のチラシが「あなた」に配布されています



(2) 社会実験には参加しましたか。

インターネットで参加登録し、エコ通勤も実践した	
インターネットに参加登録したが、エコ通勤は実践しなかった	(3)へ
インターネットの参加登録も、エコ通勤の実践もしなかった	(4)へ
その他( )	

(3) 「参加登録したが、エコ通勤は実践しなかった」を選んだ方のみお答えください。

その理由は何ですか。(該当するものをすべて選んでください)

仕事の関係で急遽エコ通勤が実践できなくなった	
天気や気候が悪く、エコ通勤を実践するのが面倒になった	
何となく、エコ通勤を実践するのが面倒になった	
やろうと思い、うっかり忘れていた	
登録後、エコ通勤を実践しなくてはいけないことを知らなかった	
その他( )	

(4) 「参加登録も、エコ通勤の実践もしなかった」を選んだ方のみお答えください。

その理由は何ですか。(該当するものをすべて選んでください)

エコ通勤への参加のお願いが、「急」だったので、参加できなかった	
ホームページ、又はチラシをみたが、何のことなのかさっぱりわからなかった	
インターネットやメールが使用できる職場環境でないため、参加できなかった	
職場から「是非実験に協力すること」の指示を受けていなかった	
「マイカー通勤」が「環境問題に悪い」とは思わないので、参加しなかった	
そもそも環境問題に興味がないため、全くやる気がしなかった	
やろうと思い、うっかり忘れていた	
その他( )	

Q3 : 次回、「環境」と「通勤交通」を考える実験を行うとしたら、どんな点が改良されたら「参加」して頂けますか。(該当するものをすべて選んでください)

<u>実験参加に関する広報のやり方を変える</u>	
}	十分の「広報期間」をもって従業員に広報するべき
	三重県の職員等が、直接エコ通勤運動の趣旨や実験内容について、しっかり説明するべき
	もっとわかりやすいパンフレット等の広報資料を配布するべき
	その他( )
<u>実験の方法を変える</u>	
}	インターネットやメールによるアンケートをやめ、紙に印刷して配布する
	12月12日～1月20日の実験期間の設定が短すぎるので、もっと長くする
	その他( )
通勤バスなどの代替「公共交通手段」をちゃんと確保する	
いずれにせよ参加しない。	
その他( )	

Q4：「環境のために公共交通機関等を利用しよう」とする取り組みは大事だと思いますか？

思う	思わない
その他（具体的に_____）	

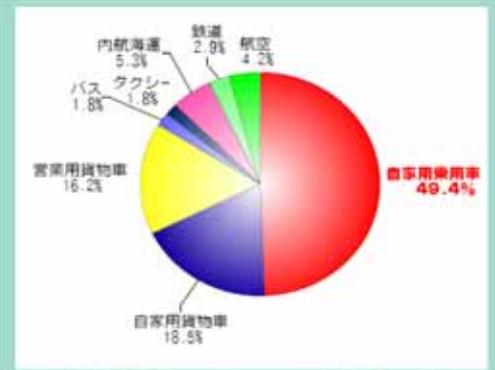
Q5：あなたの会社は、公共交通機関等での通勤を奨励していますか？

はい	いいえ
----	-----

Q6：以下の文章を読んだあとでアンケートにご回答ください。

### ●クルマ利用と地球温暖化

地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>の排出量のうち、運輸部門が占める割合は産業部門に次いで多く、おおよそ2割を占めています。このうち自家用乗用車（マイカー）が排出するCO<sub>2</sub>は50%を超えており、CO<sub>2</sub>の増加に大きな影響を与えています。



(図) 輸送機関別みたCO<sub>2</sub>の排出量 (2003年)  
出典) 国土交通省

### ●地球温暖化が進むと・・・

今のペースで温暖化が進むと、21世紀末にはCO<sub>2</sub>濃度が現在の2倍以上になり、この結果、地球の平均気温は今より最大で5.8℃上昇すると予測されています。その結果、海水の熱膨張や氷河が融けることによる海面の上昇、絶滅危惧種の絶滅の進行、マラリア等の熱病の蔓延、異常気象の発生、食糧難の発生等が危惧されます。



出展) 全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ

### ●三重県北勢地域における通勤交通の実態

北勢地区では、通勤による自動車交通量が平成3年と13年を比較して、四日市地区で約1割、桑名・員井地区で約2割増加しており、特に朝のラッシュ時間帯の渋滞が問題となっています。渋滞中はスムーズに走行しているときに比べてCO<sub>2</sub>排出量が約2倍になるといわれていることから、「自動車通勤と地球温暖化問題には密接な関係がある」といえます。

この文章を読んで、あなたはマイカー通勤を控え、公共交通や徒歩・自転車等による「エコ通勤」を実践しようと思いますか？

実践する	条件が変われば実践する	実践しない	わからない
↓	↓	↓	
Q7へ	Q8へ	Q9へ	

Q7：Q6で「実践する」と答えた方は、以下の2問にお答えください。

(1) どの程度の頻度で実践しようと思いますか？

ほぼ毎日	週に2～3回	週に1回程度
何かがあったとき(具体的に_____)		

(2) 具体的にマイカーから他のどのような通勤手段への変更が考えられますか？

路線バス	鉄道	バイク・原付	自転車	時差出勤
企業送迎バス	徒歩	同僚との乗り合い	その他(_____)	

Q8：Q6で「条件が変われば実践する」と答えた方にお伺いします。具体的にどのような条件が変われば利用しますか？(該当するものをすべて選んでください)

交通の条件	
マイカーよりも通勤費用が安くなる	自宅・会社の近くにバス停ができる
鉄道・バスの運行情報が気軽に入手できる	鉄道・バスの運行便数が増える
マイカーを仕事で利用する必要がなくなる	バスが遅れずに運行されるようになる
通勤経路の近くにパーク・アンド・ライド駐車場(無料)ができる	
その他(_____)	
会社側の条件	
早朝勤務・深夜勤務・残業がなくなる	徒歩や自転車に通勤手当が支給される
パーク・アンド・ライドの駐車場に金銭的な補助が支給される	
E C O通勤に対して「褒賞制度」がある	時差出勤が認められる
会社で表彰される(賞金などはなし)	
会社の施設(例：社員食堂等)が割引になる	
休暇がもらえる	
その他(_____)	
その他(_____)	
その他の条件	
(_____)	

Q9：Q6で「実践しない」と答えた方にお伺いします。それはなぜですか？

(該当するものをすべて選んでください)

鉄道・バスの運行本数が少ない	通勤時間が大幅に増加した
金銭的に負担が増えた	渋滞でバスがよく遅れる
身体的に負担が増えた	仕事でマイカーを使うから
勤務時間が深夜(早朝)であるため、そもそも鉄道・バスを利用できない	
その他(_____)	

Q10：「環境」と「通勤交通」について、今現在のあなたの意見をお聞かせください。

(該当するものはすべて選んでください)

環境のためには、「マイカー通勤」はよくないと思う
環境のために、公共交通機関等を使って通勤するように努力するべきだと思う
環境問題は重要だし、通勤交通との関係も理解しているが、マイカー通勤しか方法がない
環境問題は重要だし、通勤交通との関係も理解しているが、自分一人くらいなら大丈夫
環境問題は重要だが、通勤交通とは関係ないものだと思う
環境問題そのものに興味がない
その他( _____ )

公共交通機関等：鉄道、バス、自転車、徒歩のこと

Q11：あなたは普段から環境にやさしいことをしていますか？

はい	いいえ
----	-----



具体的にどんなことですか？ (該当するものはすべて選んでください)

冷房や暖房の室温設定を控えめにしている
電気使用を抑える工夫をしている
ごみの減量化やごみのリサイクルの工夫をしている
水道水の節約を工夫している
ガスの節約の工夫をしている
エコ商品を買うように努力している
レジ袋をもらわないようにしている
その他( _____ )

Q12：その他ご自由にどうぞ

--

以上です。ご協力ありがとうございました。



質問 3 従業員のマイカー通勤を減らす工夫には、次のような対策が考えられます。

それぞれについて、あなたのお考えをご記入ください。

なお、「なぜ難しいと思いますか？」の選択肢について、「その他」の理由がある場合は、別紙「その他意見の記入用紙」に具体的にご記入ください。

<p>通勤バスの導入・充実 についてお聞きます。</p> <p>この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自社単独、あるいは近隣の事業所と共同で通勤バスを導入します。</p> </div>	<p>この対策の実施は 難しい と思いますか？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なぜ難しいと思いますか？ (あてはまるすべてに✓)</p> </div> <p>貴事業所で、この対策を 「検討することはあり得る」と 思いますか？</p>	<p style="text-align: center;">難しい    少し難しい    難しいくない</p> <p style="text-align: center;">▼ なぜ難しいか、お答えください</p> <p>費用がかかる やり方が分からない 業務量の増大 従業員の反対が予想される 経営方針に合致しない その他 (別紙に具体的に記入)</p> <p>絶対、あり得ない やや、あり得る あり得る 十分、あり得る</p>
<p>自転車通勤の奨励 についてお聞きます。</p> <p>この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>従業員の通勤のために自転車を購入したり、自転車通勤者のための自転車置場やロッカー、シャワールーム等を整備します。</p> </div>	<p>この対策の実施は 難しい と思いますか？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なぜ難しいと思いますか？ (あてはまるすべてに✓)</p> </div> <p>貴事業所で、この対策を 「検討することはあり得る」と 思いますか？</p>	<p style="text-align: center;">難しい    少し難しい    難しいくない</p> <p style="text-align: center;">▼ なぜ難しいか、お答えください</p> <p>費用がかかる やり方が分からない 業務量の増大 従業員の反対が予想される 経営方針に合致しない その他 (別紙に具体的に記入)</p> <p>絶対、あり得ない やや、あり得る あり得る 十分、あり得る</p>
<p>自動車通勤制度の見直し についてお聞きます。</p> <p>この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>従業員が通勤にマイカーを使用する際の許可基準を見直し、マイカー利用を抑制します。</p> </div>	<p>この対策の実施は 難しい と思いますか？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なぜ難しいと思いますか？ (あてはまるすべてに✓)</p> </div> <p>貴事業所で、この対策を 「検討することはあり得る」と 思いますか？</p>	<p style="text-align: center;">難しい    少し難しい    難しいくない</p> <p style="text-align: center;">▼ なぜ難しいか、お答えください</p> <p>費用がかかる やり方が分からない 業務量の増大 従業員の反対が予想される 経営方針に合致しない その他 (別紙に具体的に記入)</p> <p>絶対、あり得ない やや、あり得る あり得る 十分、あり得る</p>
<p>通勤手当の見直し についてお聞きます。</p> <p>この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>従業員に支給している通勤手当の基準を見直し、バス・電車等への転換を促します。</p> </div>	<p>この対策の実施は 難しい と思いますか？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なぜ難しいと思いますか？ (あてはまるすべてに✓)</p> </div> <p>貴事業所で、この対策を 「検討することはあり得る」と 思いますか？</p>	<p style="text-align: center;">難しい    少し難しい    難しいくない</p> <p style="text-align: center;">▼ なぜ難しいか、お答えください</p> <p>費用がかかる やり方が分からない 業務量の増大 従業員の反対が予想される 経営方針に合致しない その他 (別紙に具体的に記入)</p> <p>絶対、あり得ない やや、あり得る あり得る 十分、あり得る</p>

<p><b>駐車場の削減</b> についてお聞きます。</p> <p>この対策では・・・</p> <p>従業員のための駐車場を削減します。</p>	<p>この対策の実施は 難しい と思いますか？</p> <p>なぜ難しいと 思いますか？ (あてはまるすべてに✓)</p> <p>貴事業所で、この対策を 「検討することはあり得る」 と思いますか？</p>	<p>難しい    少し難しい    難しいくない</p> <p>▼ なぜ難しいか、お答えください</p> <p>費用がかかる やり方が分からない 業務量の増大 従業員の反対が予想される 経営方針に合致しない その他 (別紙に具体的に記入)</p> <p>絶対、あり得ない やや、あり得る あり得る 十分、あり得る</p>
<p><b>「相乗り制度」の導入</b> についてお聞きます。</p> <p>この対策では・・・</p> <p>一台の自動車に複数の 従業員が「相乗り」する 仕組みをつくります。</p>	<p>この対策の実施は 難しい と思いますか？</p> <p>なぜ難しいと 思いますか？ (あてはまるすべてに✓)</p> <p>貴事業所で、この対策を 「検討することはあり得る」 と思いますか？</p>	<p>難しい    少し難しい    難しいくない</p> <p>▼ なぜ難しいか、お答えください</p> <p>費用がかかる やり方が分からない 業務量の増大 従業員の反対が予想される 経営方針に合致しない その他 (別紙に具体的に記入)</p> <p>絶対、あり得ない やや、あり得る あり得る 十分、あり得る</p>
<p><b>従業員への呼びかけ</b> についてお聞きます。</p> <p>この対策では・・・</p> <p>従業員に鉄道やバスの 時刻表・路線図等を 提供しつつ、 クルマ通勤からの 転換を呼びかけます。</p>	<p>この対策の実施は 難しい と思いますか？</p> <p>なぜ難しいと 思いますか？ (あてはまるすべてに✓)</p> <p>貴事業所で、この対策を 「検討することはあり得る」 と思いますか？</p>	<p>難しい    少し難しい    難しいくない</p> <p>▼ なぜ難しいか、お答えください</p> <p>費用がかかる やり方が分からない 業務量の増大 従業員の反対が予想される 経営方針に合致しない その他 (別紙に具体的に記入)</p> <p>絶対、あり得ない やや、あり得る あり得る 十分、あり得る</p>
<p><b>バス・鉄道の利便性向上の 働きかけ</b> についてお聞きます。</p> <p>この対策では・・・</p> <p>バス・鉄道の「路線の拡充」 「運賃改訂」「運行頻度増加」 などを交通事業者等に 働きかけていくことです。</p>	<p>この対策の実施は 難しい と思いますか？</p> <p>なぜ難しいと 思いますか？ (あてはまるすべてに✓)</p> <p>貴事業所で、この対策を 「検討することはあり得る」 と思いますか？</p>	<p>難しい    少し難しい    難しいくない</p> <p>▼ なぜ難しいか、お答えください</p> <p>費用がかかる やり方が分からない 業務量の増大 従業員の反対が予想される 経営方針に合致しない その他 (別紙に具体的に記入)</p> <p>絶対、あり得ない やや、あり得る あり得る 十分、あり得る</p>

上に挙げた取り組み以外に、マイカー通勤を減らす対策は  
どんなものがあり得ると思いますか？ 既に貴事業所で取り組んでいるものも含め、もしあれば、  
ご自由にご記入ください。



## 別紙 - その他意見の記入用紙

質問3 「なぜ難しいと思いますか？」で「その他」の理由がある場合は、具体的にご記入ください。

例)「通勤手当での支払い方法」や「事故発生の補償方法」等、制度面での問題・課題がある

	質問3「なぜ難しいと思いますか？」の質問に対する「その他」理由の具体的な記入欄
<p><b>通勤バスの導入・充実</b>  <small>についてお聞きします。</small>            この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自社単独、あるいは近隣の事業所と共同で通勤バスを導入します。</p> </div>	
<p><b>自転車通勤の奨励</b>  <small>についてお聞きします。</small>            この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>従業員の通勤のために自転車を購入したり、自転車通勤者のための自転車置場やロッカー、シャワールーム等を整備します。</p> </div>	
<p><b>自動車通勤制度の見直し</b>  <small>についてお聞きします。</small>            この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>従業員が通勤にマイカーを使用する際の許可基準を見直し、マイカー利用を抑制します。</p> </div>	
<p><b>通勤手当の見直し</b>  <small>についてお聞きします。</small>            この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>従業員に支給している通勤手当の基準を見直し、バス・電車等への転換を促します。</p> </div>	

	質問3「なぜ難しいと思いますか？」の質問に対する「その他」理由の具体的な記入欄
<p><b>駐車場の削減</b>  <small>についてお聞きします。</small></p> <p>この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>従業員のための駐車場を削減します。</p> </div>	
<p><b>「相乗り制度」の導入</b>  <small>についてお聞きします。</small></p> <p>この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一台の自動車に複数の従業員が「相乗り」する仕組みをつくります。</p> </div>	
<p><b>従業員への呼びかけ</b>  <small>についてお聞きします。</small></p> <p>この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>従業員に鉄道やバスの時刻表・路線図等を提供しつつ、クルマ通勤からの転換を呼びかけます。</p> </div>	
<p><b>バス・鉄道の利便性向上の働きかけ</b>  <small>についてお聞きします。</small></p> <p>この対策では・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>バス・鉄道の「路線の拡充」「運賃改訂」「運行頻度増加」などを交通事業者等に働きかけていくことです。</p> </div>	